

2019年5月9日

各位

会社名：株式会社 J B イレブン
代表者名：代表取締役社長 新美 司
(コード番号：3066 名証第二部)
問合せ先：取締役 田島 英幸
電話番号：052-629-1100

特別損失の発生及び通期連結業績予想と実績との差異、
並びに配当予想の修正（復配）に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、本日開催の取締役会において、下記の通り特別損失を計上すること及び、配当予想の修正について決議しました。また2019年3月期（2018年4月1日～2019年3月31日）の通期連結業績予想と実績との差異について、あわせてお知らせします。

記

1. 特別損失の計上及び内容

2019年3月期決算において、店舗の将来キャッシュフローを見直した結果、営業活動によるキャッシュフローがマイナスとなる店舗（1店舗）および退店を決定した1店舗について「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損損失49百万円を2019年3月期に計上することを決議しました。

2. 2019年3月期通期連結業績予想と実績との差異

(1) 通期連結業績予想と実績との差異（2018年4月1日～2019年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期 純利益
前回発表予想（A） （2018年11月8日）	百万円 7,328	百万円 103	百万円 110	百万円 4	円 銭 0.61
実績（B）	7,272	120	143	36	5.21
増減額（B-A）	△55	17	32	32	—
増減率（%）	△0.8	16.6	29.8	753.3	—
（ご参考）前期実績 2018年3月期（連結）	7,016	103	106	△266	△37.94

(2) 修正の理由

売上高については、前回発表予想を若干下回りましたが、商品力・サービス力の改善・安定とともに、秋口からの売価改定効果により、営業利益、経常利益、および親会社株主に帰属する当期純利益は増加しました。

3. 配当予想の修正（復配）について

	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2018年11月8日)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 (未定)	円 銭 (未定)
今回修正予想	—	—	—	2.50	2.50
当期実績	—	—	—		
(ご参考) 前期実績 2018年3月期（連結）	—	—	—	0.00	0.00

当社は、株主への利益還元を重要な経営政策の一つと認識しており、今後の事業展開および財務体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、業績に裏打ちされた安定配当の維持継続を基本方針としています。

2018年3月期においては、多額の損失を計上したため無配とさせていただきましたが、2019年3月期においては、業績も回復したため、1株につき2円50銭の期末配当を実施させていただきます。今後とも収益改善に努めてまいります。

以上